



発行所 ☎730-0012  
 広島市中区上八丁堀8番10号  
 建設業労働災害防止協会広島県支部  
 発行人 高見誠一  
 TEL(082)228-8250  
 印刷所 広島市西区東観音町3番8号  
 中外印刷株式会社  
 TEL(082)291-4646

定価 40円 送料 60円 毎月1回 10日発行 会員の方は会費に「建設防広島」の購読料が含まれています。 2月号

**平成28年度**

**建設業年度末労働災害防止強調月間**

期間 / 平成29年3月1日～3月31日

**「建設業フィンガー・チェック運動」を定着させ、年度末災防活動を強化しよう!**

平成28年の全国の建設業の労働災害は、平成28年1月～12月末までの速報値で、休業4日以上死傷災害は前年同期比で3.4%の減少、死亡災害は277人で同10.6%の減少となりました。一方広島県内の状況は、死亡災害が一昨年と同じ3人にとどまっておりますが、死傷災害が12月末現在の速報値で、前年同月比17件5.8%の増加の310件となり、3年ぶりの増加に転じることが予想されます。広島県をはじめ中国5県の建設業では死傷災害、死亡災害ともに大きく増加し、特に死亡災害は9人から2倍の18人となり深刻な状況となっております。原因の一つに技能者技術者の人手不足があげられており、都市圏に人材が流れ、リスク要因が高まった結果が出ているのではないかと、とも言われております。



を徹底し、貴重な人材をこれ以上失わないためにも、一層の災害防止対策を講じる必要があります。

これから年度末を迎えますが、年度末はまさに、ある意味戦場になるほど、工期が切迫し作業が輻輳するため災害リスクが高まります。このため、本年も年度末労働災害防止強調月間の活動を、積極的に進めていただくようお願いいたします。

昨年7月に建災防本部の広島支部駐在安全管理士が配置されましたが、国の補助事業として無料で実施される安全管理士の現場パトロールや、研修会、安全大会などに多くの利用をいただくようになりました。これから年度末災害防止の一環として、安全管理士の積極的な利用促進を期待しております。

昨年末には中国地方を始め、トンネル改修工事現場での一酸化炭素中毒事故が続発しましたが、ガソリン発電機の使用などに関し、日常作業の慣れから、必要なリスクアセスメント、KY活動等が形だけになっていないか、懸念するところですが、現場管理、教育訓練

なお、具体的対策については、「平成28年度建設業年度末労働災害防止強調月間実施要領」及び、「建設業労働災害防止規程」、並びに「平成28年度建設業労働災害防止対策実施事項」等を活用していただきますようお願いいたします。

**目次**

平成28年度建設業年度末労働災害防止強調月間 ... 1  
 第19回広島県建設専門工事業者団体等  
 安全衛生推進大会 ..... 2  
 第19回広島県建設専門工事業者団体等  
 安全衛生推進大会 安全功労者表彰 受賞者名簿 4  
 広島労働局が独自ロゴを作成しました。ご利用ください 5

建設業における一酸化炭素による労働災害の  
 防止について、要請がありました。..... 6  
 平成29年建設業死亡災害発生状況 ..... 6  
 平成28年度安全優良職長 厚生労働大臣顕彰 ..... 7  
 労働災害発生状況 ..... 7  
 講習・行事コーナー  
 (平成29年2月～平成29年5月) ..... 8

## 第19回 広島県建設専門工事業者団体等 安全衛生推進大会

去る2月6日、広島パシフィックホテルにおいて、第19回広島県建設専門工事業者団体等安全衛生推進大会を専門工事業18団体と共催で開催いたしました。

本大会は、平成25年度から建災防広島県支部の自主事業として実施しております。当日は広島労働局より橋本和隆労働基準部長、中国地方整備局企画部より松村守総括技術検査官、広島労務研究会より浦田哲明幹事長をお招きし、団体関係者約110名のご参加をいただきました。



広島県室内装飾事業協同組合 竹内剛理事長



建災防広島県支部 檜山典英支部長



広島労働局 橋本労働基準部長



中国地方整備局企画部 松村守総括技術検査官

開会にあたり、建設工事で犠牲となられた方に黙祷を捧げたあと、広島県室内装飾事業協同組合竹内剛理事長の開会のことばで第1部（式典・表彰式）の幕を開けました。

主催者を代表して、建災防広島県支部檜山典英支部長から「労働災害をさらに減少させるためには元方事業者が努力するのは当然のことだが、直接施工に関わられる専門工事業の皆様の自主的活動がこれからも重要になる。」との挨拶に続き、橋本労働基準部長から「人材不足の建設業では、働き方改革を進め、労働条件を見直し、安全で働きやすい職場づくりがさらに求められる。」と励ましをいただきました。また、松村総括技術検査官から「ITを活用した生産性の向上が必要だが、一方で労働災害防止には、お互いに注意しあえる人間関係の構築とヒューマンエラーの防止が大事だと考えている。」とお言葉をいただきました。

その後建災防広島支部長の安全功労者表彰を行い、23名が表彰され、その中から受賞者代表として(有)井上建設松迫明宏様に謝辞をいただきました。

第1部の締めくくり、広島労務研究会浦田幹事長から「基幹産業である建設業を支えるのは専門工事業の皆様であり、現場で多くのことを教えていただいた。大切な仲間をこれ以上失いたくないという思い、決意をともに新たにしたい。」とご祝辞をいただきました。



受賞者のみなさん



広島労務研究会 浦田哲明幹事長(講師)

第2部(安全衛生セミナー)では、(株)大林組広島支店安全環境部長浦田哲明氏より「化学物質を取扱う建設現場のリスクアセスメントについて」、建災防広島駐在安全管理士落合正典氏から「今求められる過重労働防止対策とストレスチェックについて」のテーマで講演がありました。



建災防 落合安全管理士(講師)



広島県板金工業組合 有間理事長

最初に、浦田講師より、昨年6月に法改正があり新しく必要となった、塗装や防水工事等建設工事現場で使用される塗料等化学物質の危険、有害性の調査、評価と作業の改善方法について、どのようにしたらいいか県内の建設業で統一して使えるよう、図式や様式を使い、わかりやすく説明がありました。その後、建災防本部の落合安全管理士から、過労自殺等最近社会的問題となっている、パワハラや長時間労働等による過重労働の健康障害の現状と今後必要な時短やストレスチェック制度をどのように具体的に実施したらいいか、懇切丁寧な説明があり、大変有意義な講演となりました。

最後に、有間一宗広島県板金工業組合理事長の閉会のことばで大会を終了しました。開催にあたり協力を賜りました各団体の関係者の方々に心より感謝を申し上げます。今後も建災防、専門工事業者と、行政機関が連携・協力し、労働災害防止活動が充実することを期待します。

# 第19回 広島県建設専門工事業者団体等安全衛生推進大会 安全功労者表彰 受賞者名簿



受賞者代表 岡山俊秋 様



受賞者代表謝辞 松迫明宏 様

### 【型枠大工工事業】

森 本 博 (株) ル コ ン  
松 迫 明 宏 (有) 井 上 建 設

### 【とび工事業】

藤 島 信 介 (株) 富 満 組  
高 木 隆 作 (有) 功 栄 工 業

### 【電気工事業】

松 永 充 三 次 電 工 (株)  
中 本 和 夫 淡 路 電 気 工 事 (株)

### 【管工事業】

小 川 利 和 ダ ン 環 境 設 備 (株)  
久 保 河 内 久 (株) 横 山 工 業 所

### 【塗装工事業】

檜 崎 章 治 日 塗 (株)

### 【左官工事業】

岡 山 俊 秋 (有) 藤 田 左 官 工 業  
山 本 巧 美 (有) モ リ タ 工 業

### 【基礎工事業】

北 川 恵 (株) 瀬 戸 内 基 礎

### 【機械土工事業】

岡 本 護 山 崎 建 設 (株) 広 島 営 業 所

### 【屋根工事業】

沖 田 孝 典 (有) ユ ノ カ ワ

### 【板金工事業】

倉 本 満 広 (有) 倉 本 板 金 工 業  
西 本 孝 行 西 本 工 務 店

### 【マスチック工事業】

野 間 安 生 (株) 長 崎 塗 装 店

### 【防水工事業】

河 野 和 壯 (有) 真 和 技 研

### 【タイル工事業】

山 田 利 行 (株) カ タ ヤ マ  
佐 々 木 政 義 (株) 白 石 タ イ ル

### 【内装工事業】

木 佐 貫 良 彦 (有) ウ ッ ド ラ イ ン  
青 山 直 樹 青 山 装 飾 (株)

### 【配管工事業】

村 上 政 広 (有) オ ア シ ス テ ム

(順不同・敬省略)



## 広島労働局が独自ロゴを作成しました。ご利用ください。

広島労働局は、労働災害のない安全・安心な職場づくり、長時間労働の抑制やワーク・ライフ・バランスの実現に向けた働き方改革を推進するため、「Safe Work, Change Work HIROSHIMA」をキャッチフレーズとした広島労働局独自のロゴマークを作成しました。

このロゴマークは、マグネットシートとシールのものであり、取組に賛同された各団体、企業、個人の方に自由に活用していただくよう要請がありました。

広島労働局のホームページからダウンロードしてご利用できます。

### 「Safe Work, Change Work HIROSHIMA」専用ロゴマーク作成！ ～日本一働きやすい職場づくりに向けて～

我が国が人口減少社会を迎える中、若者、高齢者、女性、障害者などすべての労働者が安全、安心に、かつ意欲を持って生き生きと働ける「全員参加型社会」を実現することが必要不可欠となっています。

このため、広島労働局におきましては、今後、労働災害のない安全・安心な職場づくり、長時間労働の抑制やワーク・ライフ・バランスの実現等に向けた働き方改革の推進及び安定した正社員雇用の実現に向けた取組などについて、さらに強力に推進することとしております。

そして、こうした取組の一環として、当局では、平成29年1月から「全員参加型社会」の実現に向けた広島労働局の取組について広く周知するとともに、広島県の企業が「日本一働きやすい職場」となるよう草の根運動を展開することを目的として、「Safe Work, Change Work HIROSHIMA」をキャッチフレーズに、当局独自のロゴマークを作成したところです。

同キャッチフレーズの中の「Safe Work」は、労働災害のない安全・安心な職場づくりを、また「Change Work」は、働き方改革及び安定した正社員雇用の実現を広く訴えるものであります。

本ロゴマークは、労働災害のない安全・安心な職場づくり、長時間労働の抑制やワーク・ライフ・バランスの実現等に向けた働き方改革、安定した正社員雇用の実現など「全員参加型社会」の実現に向けた取組を目的とする場合には、同ロゴマークの使用取扱規程に基づき、各団体、企業、個人が自由にご活用いただけます。

本ロゴマークについては、広島労働局ホームページより無償でダウンロードできますので、使用取扱規程をご確認の上、ご活用いただきますようお願いいたします。



「Safe Work, Change Work HIROSHIMA」ロゴマーク

(使用例)

事業所、現場等にロゴマークの掲示、  
メット、作業着等へのロゴマークの貼付、  
ロゴマーク入り名刺の作成

会社の方針などへのロゴマークの使用、ヘル  
各種説明会、大会等でのロゴマークの使用、

## 建設業における一酸化炭素による労働災害の防止について、要請がありました。

今般、厚生労働省より標記のとおり、一酸化炭素による中毒などの災害防止について要請がありました。

一酸化炭素中毒の予防については、平成23年7月22日付け基安化発第0722第1号によって防止対策の周知が行われているところですが、近年も下表のとおり発生事例が散見され、特に建設現場においては、昨年も11月に山口県内の工業用水トンネル補修工事現場で発電機、コンプレッサー、軽トラックを持ち込み、コンクリートはつり作業中、9人が一酸化炭素中毒とみられる症状で救急搬送されました。同じ月に長崎市の導水トンネル補修工事現場で、電気ドリル作業のため発電機を持ち込み作業中、充滿した一酸化炭素により4人が救急搬送されたがうち1名が死亡する重大事故が発生しています。このようなことから、改めて同種災害の発生防止対策の徹底について要請が行われたものです。

### 近年における一酸化炭素中毒による労働災害（例）

業種	被災状況	発生状況	発生原因
建設業	中毒1名	マンション新築現場の通風が不十分な躯体内において、内燃機開式のコンプレッサーを用いてバルコニー天井の吹付塗装作業を行っていたところ、当該コンプレッサーを吹付塗装を行う作業エリア内に設備していたため、一酸化炭素が充滿し中毒になった。	換気が不十分な場所での内燃機関の使用 作業標準不徹底 作業標準書未作成
建設業	中毒4名	地面を掘削して作った穴の内部で、コンクリートブロック型枠の部品に溜った水が凍結しないよう、練炭を燃やしていたところ、穴の中で型枠組立作業を行っていた作業員4名が一酸化炭素中毒になった。型枠全体をブルーシートで養生していた。	換気不十分 呼吸用保護具未着用 一酸化炭素濃度測定未実施 危険有害性の認識不足
建設業	中毒4名	休憩時間中に資材小屋内において、ガソリンエンジン式発電機の排気ガスで暖をとっていたところ、4名が気分が悪くなり、一酸化炭素中毒となった。	換気が不十分な場所での内燃機関の使用 安全衛生教育不十分
建設業	中毒3名	店舗の天井の塗装工事中、発電機を建物外に置かず店舗内の扉近くに置き、開口部を2方向向け扇風機で発電機に向かって風を送っていた。気分が悪くなり、受診し一酸化炭素中毒と診断された。	換気が不十分な場所での内燃機関の使用 危険有害性の認識不足
建設業	中毒1名	飲食店舗内の冷凍機等設置工事現場において、被災者はコンクリートカッターで土間を切断する工事を行っていたところ、気分不良を訴えて休憩していたが、その後会話もできない状態となった。救急搬送され一酸化炭素中毒と診断された。	換気が不十分な場所での内燃機関の使用 呼吸用保護具未着用
建設業	中毒2名	工場内で足場で囲いを作り、粉じん飛散防止のためにシートで目張りしたエリア内で、作業員2名がエンジン式のロードカッターを30分間使用し退室した。その後、天井板の撤去を作業員4名が同エリア内で開始したところ、約40分後、3名が体調不良を訴え、うち2名が急救搬送された。一酸化炭素中毒と診断された。	換気が不十分な場所での内燃機関の使用 呼吸用保護具未着用 作業標準書未作成 危険有害性の認識不足 安全衛生教育不十分
建設業	中毒2名	建物解体工事現場で、被災者らはガソリン式高圧洗浄機を使用して居室天井部分の断熱材をはがす作業を行っていた。洗浄機は隣接する廊下に設置し、排気ガスをその廊下に排出していたが、作業現場に訪れた責任者が、倒れている被災者2名を発見し、病院にて一酸化炭素中毒と診断された。	換気が不十分な場所での内燃機関の使用 安全衛生教育不十分

### 平成29年建設業死亡災害発生状況

広島労働局（平成29年1月末現在）

No.	発生月	職種	職種	性別	年齢	経験	事故の型	起因物	災害発生状況
1	1月	建設業	電工	男	20代	4年	交通事故 (道路)	トラック	工事の現場作業が終わり、次の現場に高所作業車を運転して川の土手にある道路を、走行中、対向車と離合する際、運転を誤り、法面をすべり横転し、川に水没し溺死した。

## 平成28年度 安全優良職長 厚生労働大臣顕彰

優れた技能と経験を持ち、担当する現場や部署で作業の安全を確保して優良な成績を挙げた職長に対し、本年度は143名が顕彰されました。

平成29年1月10日、東京都千代田区霞が関1-2-2中央合同庁舎5号館2階講堂において、顕彰式典が行われました。

広島県内7名（建設業3名）の受賞者から、建設業労働災害防止協会広島県支部より推薦したお二人をご紹介します。



おか だ こう じ  
**岡 田 浩 二**  
(株式会社 川頭工務店)

**【受賞の言葉】**

この度は、大変栄誉ある賞を頂き、誠にありがとうございます。これもひとえに平日頃から元請社員をはじめ関係する皆様のご指導とご支援により受賞できたものであり感謝しております。

これからも、この受賞を励みに、より一層の精進を重ね、安全衛生管理活動に積極的に取り組み、災害ゼロを目指していきます。

今後とも、皆様方からのご指導・ご鞭撻を頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

**【推薦理由】**

昭和61年3月に前の有限会社石富工務店に技能職として入社、その後平成24年4月より現在の株式会社川頭工務店に技能職として入社。入社以来、型枠大工として多くの建設工事に携わり、そこで得た豊富な知識と経験を職長として積極的に生かし、ムリ、ムラ、ムダのない安全作業を進める計画・手順の部下への指導はもとより、元請社員関係する他社の職人と積極的にコミュニケーションを図り、工事現場全体での自主的な労働災害防止活動を実践している。



かき はら ゆき お  
**柿 原 幸 夫**  
(株式会社 水本組)

**【受賞の言葉】**

このたびは安全優良職長という名誉ある顕彰を頂きまして誠にありがとうございます。

入社して15年間、元請会社をはじめ各関係会社のご支援、ご協力により今回の受賞に結びついた事と感謝申し上げます。

つきましては、この名誉ある受賞を糧として、安全活動について今一度振り返り、無事故・無災害の尊さを発信して行く所存でございます。

今後においても、各関係者とのコミュニケーションを大切に、周囲の安全性の確保、セルフマネジメントを忘れず、日々改善を常に考えて作業に取り組んでいきますので、皆様方より一層のご指導ご鞭撻を頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

**【推薦理由】**

平成13年7月より入社し、持ち前の明るさと、逞しさを日々の安全活動に励み、土木・建築現場においては、技術に対する向上心も篤く能力も優れており、安全第一を唱え、知識・技能・労力を惜しまず発揮して作業関係者及び現場全体の安全についても、謙虚誠実にリーダーシップを発揮し、社業に取組む姿勢は安全衛生環境の意識を高め社員の模範となっている。

### 平成27年・28年 建設業における事故の型別労働災害発生状況 (労働者死傷病報告による)

広島労働局 (平成28年12月末)

事故の型別	墜落	転倒	激突	飛来落下	崩壊	激突	はね	切れ	踏み	高温・低温	有害物質	感電	火災	交通事故	動作の反動	その他	合計
平成27年	107	30	17	(1) 30	10	13	(1) 30	25	3	0	1	0	0	9	18	0	293
平成28年	114	35	15	(1) 21	10	15	27	27	2	2	2	2	0	(1) 13	23	2	310

( )内は、死亡の内数

### 平成27年・28年 全産業・建設業・署別労働災害発生状況 (労働者死傷病報告による)

広島労働局 (平成28年12月末)

監督署別	全 産 業							建 設 業								
	平成27年			平成28年			増減数	平成27年			平成28年			対前年増減数	対前年増減率 (%)	建設業/全産業 (%)
	死亡	休業	死傷計	死亡	休業	死傷計		死亡	休業	死傷計	死亡	休業	死傷計			
広島中央	8	819	827	1	809	810	-17	2	82	84	1	87	88	4	4.8	10.9
呉	1	242	243	3	278	281	38	0	27	27	0	27	27	0	0.0	9.6
福山	4	562	566	5	532	537	-29	0	60	60	1	69	70	10	16.7	13.0
三原	3	134	137	2	147	149	12	0	20	20	0	17	17	-3	-15.0	11.4
尾道	1	199	200	1	165	166	-34	0	23	23	0	24	24	1	4.3	14.5
三次	2	150	152	2	156	158	6	0	19	19	0	23	23	4	21.1	14.6
広島北	2	309	311	1	322	323	12	0	40	40	0	39	39	-1	-2.5	12.1
廿日市	2	249	251	1	265	266	15	1	19	20	1	21	22	2	10.0	8.3
合計	23	2,664	2,687	16	2,674	2,690	3	3	290	293	3	307	310	17	5.8	11.5

# 平成28年度講習計画

(平成29年2月～平成29年3月末までの計画)

## 作業主任者技能講習の日程

足場の組立て等	実施場所	担当分会	地山の掘削及び土止め支保工	実施場所	担当分会
2月16～17日	福山市	福山	2月14～16日	広島市	広島
3月7～8日	広島市	広島			

## 特別教育等の日程

足場の組立て等(3時間)	実施場所	受付分会	足場の組立て等(6時間)	実施場所	受付分会	自由研削砥石取替え等業務	実施場所	受付分会
2月24日	広島市	広島	2月28日	呉市	呉	2月15日	呉市	呉
3月21日	広島市	広島				3月6日	広島市	広島
			振動工具取扱作業	実施場所	受付分会			
			3月2日	福山市	福山			

## 職長等各種教育の日程

職長・安全衛生責任者教育	実施場所	受付分会	足場能力向上教育・足場点検実務者研修	実施場所	受付分会	車両系(整地等)運転業務従事者教育	実施場所	受付分会
2月23～24日	呉市	呉	2月23日	広島市	広島	2月21日	福山市	福山
3月6～7日	福山市	福山						
16～17日	広島市	広島	新総合工事業者のリスクアセスメント	実施場所	受付分会			
			2月22日	広島市	広島			

# 平成29年度講習計画

(平成29年4月～平成29年5月末までの計画)

## 作業主任者技能講習の日程

足場の組立て等	実施場所	担当分会	型枠支保工の組立て等	実施場所	担当分会	地山の掘削及び土止め支保工	実施場所	担当分会
4月20～21日	広島市	広島	5月16～17日	三次市	三次	4月17～19日	三次市	三次
5月25～26日	福山市	福山				5月22～24日	呉市	呉

## 特別教育等の日程

足場の組立て等(3時間)	実施場所	受付分会	足場の組立て等(6時間)	実施場所	受付分会	ロープ高所作業(学科のみ)	実施場所	受付分会
4月11日	広島市	広島	4月26日	広島市	広島	4月12日	広島市	広島
5月11日	広島市	広島						
16日	福山市	福山	巻上げ機(ウインチ)運転	実施場所	受付分会	低圧電気取扱業務	実施場所	受付分会
30日	呉市	呉	4月24日	福山市	福山	4月13日	広島市	広島
			25日	広島市	広島			

## 特別教育に準じた教育日程

刈払機取扱作業	実施場所	受付分会
4月13日	三原市	三原

## 統括・職長等各種教育日程

現場管理者統括管理	実施場所	受付分会	職長・安全衛生責任者教育	実施場所	受付分会	斜面点検者教育	実施場所	受付分会
4月25日	福山市	福山	4月27～28日	尾道市	尾道	5月9日	広島市	広島
5月30日	広島市	広島	5月11～12日	福山市	福山			
			24～25日	広島市	広島	熱中症予防指導員・管理者	実施場所	受付分会
			30～31日	三次市	三次	5月17日	広島市	広島

\*詳細につきましては、支部及び各分会にお問い合わせください。

なお、定数に満たない場合は中止、または、延期する場合があります。

建災防広島県支部 (082) 228 - 8250

## 広島県支部各分会

広島分会 (082) 228 - 8252

三原分会 (0848) 63 - 9920

三次分会 (0824) 62 - 4391

呉分会 (0823) 22 - 6886

尾道分会 (0848) 22 - 8918

廿日市分会 (0829) 31 - 0196

福山分会 (084) 924 - 4320

## ホームページアドレス

建災防広島県支部  
建災防広島県支部広島分会  
建災防広島県支部福山分会  
建災防広島県支部三次分会

<http://www.jcosh-hiroshima.jp/>  
<http://www.jcosh-hiroshima.jp/hiroshimabunkai/>  
<http://fukubun.sakura.ne.jp/>  
<http://ww7.enjoy.ne.jp/~kfm62/>